

「熱中症」への対応手順

静岡瀬名キャンパス

1 「熱中症」のおそれのある者を発見、または自覚したら

他覚症状 ふらつき、生あくび、失神、大量の発汗、痙攣、嘔吐 等

自覚症状 めまい、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、頭痛、不快感、吐き気、倦怠感、高体温、脱力感 等

▶ 質問をして応答をみる

「ここはどこ？」「お名前は？」
「今何してる？」

「返事がおかしい」「ぼーっとしている」

普段と様子がおかしい場合も
熱中症のおそれあり

2 すぐに授業(業務)及び部活動等からの離脱、事務局・保健室へ連絡 **救急要請**

●決して躊躇をせずに中断する ●すぐに保健室or事務局へ連絡(閉室時は守衛室)

！ 意識障害有無の確認

意識障害なし
退避

意識障害あり
救急隊要請

すぐに救急隊を
要請し、同時に
応急手当を
する



平日の日中 保健室・事務局が対応

土日等、
事務局・
保健室が
閉室している
場合

①常葉大学草薙・瀬名キャンパス 防災センター(守衛室)へ報告

054-297-6110

②静岡県救急安心電話相談窓口「**#7119**」へ架電 相談・指示を仰ぐ
※部活動等の活動時に活動責任者が不在の場合は、活動責任者へ連絡・報告をする

涼しい場所へ退避 **涼しい場所を選び、衣類をゆるめて寝かせる**

▶屋外の場合はすぐに日陰などの身体を冷やせる場所へ移動

救急隊到着までの間や経過観察中は、患者を一人にしないで見守る

脱衣と冷却

- 積極的に体を冷やす
- 水分・塩分を摂取する
- 水をかけたり、濡れタオルを当てて扇ぐ
- 氷やアイスバックがあれば、頸部、脇の下、足の付け根などの大きい血管を冷やす



- 0.1～0.2%食塩水 or スポーツドリンク
- 熱痙攣の場合は生理食塩水(0.9%)など濃い目の食塩水を補給

3 経過観察～善後処置

観察継続
十分な休養

水分・塩分の摂取

できない

できる

症状改善

症状改善

改善しない

病院へ



身体を冷やしながら
一刻も早く搬送！